

おし しょくいく 教えて食育 Web vol.23



～ろう特別支援学校の食育～
聴覚に障害のある幼稚部から高等部までの子どもたちに給食を提供しています。卒業後に自立していく子どもたちが食事管理をできるように、各学年に応じた食育の実践を目指しています。

近隣の農園で収穫した新鮮な野菜を使った給食提供と 視覚教材を使った食材についての学習



～聴覚からの情報を補うために、野菜の実物を見せたり説明用教材を作ったりしました～
地域の農園にご協力いただき、給食の食材の一部を納品してもらっています。今年度は、旬の春キャベツ・じゃがいも・ねぎ・だいこん・さといもを日常的に給食に使用しました。その度に、農園から写真を提供していただき、それを使った説明用の教材を作りました。また、納品された野菜の実物を児童生徒に見せ、手で触ったり匂いをかいだりするなど五感を使った体験ができるようにしました。

農園でのさといもの栽培の様子

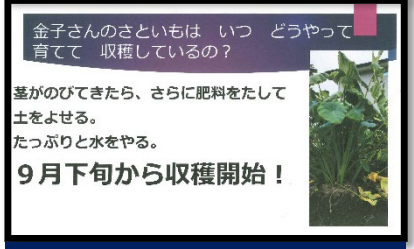
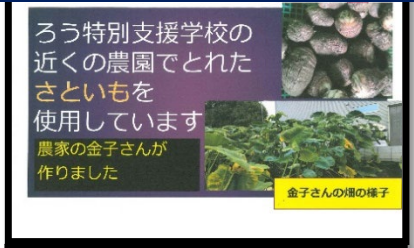


農家さんから届いたさといもの葉と、さといもの実物を児童が観察する様子



さといもの葉っぱ、大きい！
こんなふうに、さといもがとれるんだね！

教室での説明用教材の資料の一例



さといもを使用した給食献立



調理員さんが包丁で一つひとつ丁寧に皮をむいたさといもの入った筑前煮がおいしかったです！！

【今後の活動について】

引き続き、給食献立や食材の実物の展示、給食室での調理過程を撮影して視覚教材として活用し、幼児・児童・生徒の興味・関心を引き出せるような活動を行いたいと考えています。また、自立活動や各教科等の内容と食育を関連させた活動も行っています。